

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【宮城県】

| | |
|---------------|---|
| 1 実践テーマ | 【 V 】 |
| 2 実施対象者 | 色麻町立色麻小学校 5年生 53名 |
| 3 展開の形式 | <p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間, 体育)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p> |
| 4 目標 (ねらい) | <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピアンについての調べ学習を通して、スポーツに対する興味・感心を高め、親しもうとする態度を育てる。 ・トップアスリートとの交流を通して、夢や志を持つことの大切さに気づき、目標に向かって諦めずに努力しようとする態度を育てる。 |
| 5 取組内容 | <p>1 JFA心のプロジェクト～夢の教室～の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元バスケットボールプレイヤー、日本代表の岡里明美さんを講師に迎える。初めに体育館で体を動かす活動を行う。仲間と協力しないとクリアできない課題が与えられ、明美さんが児童に混じって一緒に活動する。試行錯誤の末、作戦を立てながら活動し、困難な課題を達成できたときの喜びを全員で味わう体験をする。教室では、今までの明美さんのバスケットボール人生を振り返り、決して順調な歩みでなく、挫折を味わいながらも我慢して努力し続けたことが最後に報われた経験談を話してもらおう。夢を持つことや、夢に向かって努力することの大切さを学ぶ。 |



| | |
|---------------------|--|
| | <p>2 オリンピック・パラリンピック出場選手調べ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの宿題として、自分が興味のあるスポーツ分野で活躍している、または活躍したことのあるオリンピック・パラリンピック出場選手のことを調べ、競技や選手そのものへの興味・関心を高める。 <p>3 パナソニック陸上競技部による陸上教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で行われたクイーンズ駅伝でチームが優勝した翌日に、安養寺俊隆監督率いるパナソニック陸上競技部に来校していただき、陸上教室を実施する。初めに、安養寺監督からたくさん夢を持つことの勧めや夢を叶えるためにはどうすればよいかといった内容の講話を聞く。次に、グラウンドで選手たちと一緒に体を動かし、選手がいつも行っているエチオピア体操を教わり、最後は全員でリレーを行った。  |
| 6主な成果 | <ul style="list-style-type: none"> ○トップアスリート直接交流をすることで、アスリートやスポーツ競技そのものに興味を持つ児童が増え、応援しようとする態度が育った。 ○「夢に挑戦する大切さを教わった。小さな目標の達成を積み重ね、将来はオリンピックに出場したい」という感想を持つ児童もいた。 ○夢を持つことや目標に向かって努力することの大切さを学ぶことができた。トップアスリートの誰もが初めからできたわけではなく、何度も挫折を味わいながら努力し続けた結果、夢を叶えることにつながるということが体験談から分かった。 |
| 7実践において工夫した点(事業の特色) | <ul style="list-style-type: none"> ○オリンピック・パラリンピックの関連図書を購入し、調べ学習に活用した。 ○トップアスリートを講師として招き、実際に一緒に体を動かしたり、生の体験談を話してもらったりすることで、より身近な存在として実感できるようにした。 |
| 8主な課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ○トップアスリートとの交流でスポーツや選手そのものに興味を持って応援しようという気持ちが喚起された児童が増えた。しかし、そこからオリンピックそのものに興味を持ったり、ボランティアとして活動したりというところまで、全児童の気持ちをもっていくことはできなかった。 ○全学年の年間指導計画に、オリンピック・パラリンピック教育を位置づけて、継続・計画的に実施することでより効果的な指導ができる。 |
| 9来年度以降の実施予定 | JFA心のプロジェクト～夢の教室～は、継続して実施予定。 |